

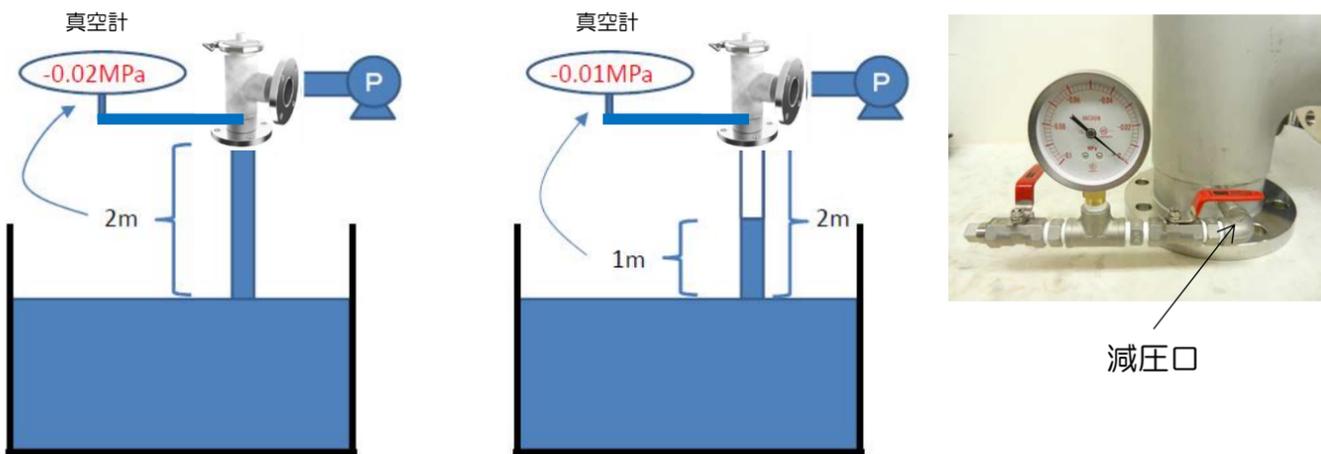


減圧口確認ユニットを販売！（真空計 + 真空引き用ワンタッチ プラグ）※ 標準価格¥33000-



部品名	真空計	チーズ	六角ニップル 3個	ボール弁 2個	エルボ	ニップル 50mm	プラグ
材質	真鍮	SCS13	SCS13	SCS13	SCS13	SUS304	SCS13

スモレンスキフットバルブ以下は配管末端には何も設置しないため、常に減圧が働いている。
減圧口に真空計を設置することで、地上で落水の有無を目視管理できます。



①真空計の値が フートバルブと水面の間 の配管の
高さ分の水頭圧と同じ
→落水は発生していない為、フートバルブに異常は無
い。
→ポンプとフートバルブの間に原因。ポンプグランド
シール部から漏水量が多いなど。

②連成計の値が フートバルブと水面の間 の配管の
高さ分の水頭圧よりも小さくなる。
→落水が発生している。
→フートバルブと水面の間に原因
→液面が吸込み配管末端よりも低くなる。
吸込み配管のフランジ接続部や末端等から吸込み配
管内に空気を吸い込む。
フートバルブの止水不良。

担当者の一ヶ月



小島 和彦

皆さん こんにちは、小島です。
先日体調不良(自己診断かぜ)で、だるく、夜には咳が
かひどくて寝ることができなくなりました。そこで、体に
なにか良いことを今やろうと考えたとき、足湯を思い付きました。
夜中の1時前、家族に話した所、高一の次男が翌日は
休みで予定もないとのこと、急きょ一緒にかけることに
しました。インターネットで出発前に調べ、目的地は静岡県
某所、自宅から2時間30分程度の所に決めました。
出発したのは良いものの、家に戻るまでに色々ありました。やはりおかげで。

今月の目次

- ・ご挨拶
(千葉事業部長)
- ・テクニカルメッセージ
「スモレンスキフットバルブの減
圧口の活用方法について」
- ・今月の特集
「五十嵐レポートが行く!!
設置現場訪問」
- ・イシザキからのお知らせ
「減圧口確認ユニットを販
売！」

◇お客様から有難いお言葉が続々
～東伸熱工株式会社様◇
早いもので2014年も間もなく折り返し地点になりました。若葉の輝くこの季節は寒暖の差もあり、うっ
かり体調を崩さないように気を付けたい季節ですね。
さて、今月の特集は“グランドフット®バルブ SG”
をご採用頂いた多くのお客様より、取材のご協力を
頂戴しました東伸熱工(株)様をご紹介します。
【メンテがとても簡単、かつ年間電力を約100万円に削減可能！】
との実例をご覧頂きます。安心・安全なグランドフット®SGを選択
頂き、驚きの現実を体感頂いております。あのわずらわしいフット弁
工事は不要です。是非、SGの愛称で覚えて下さい。
なお、ご予定案件へのご対応はお早めにお手配頂きますよう重ねて
お願い申し上げます。
く いつもご愛顧ありがとうございます >



バルブ事業部長
千葉 和典

試運転が簡単に！配管内の可視化に！
スモレンスキフットバルブの減圧口の活用方法について

スモレンスキフットバルブの本体1次側には減圧口という、「3/8ねじの取り出し口」が付いていることに、皆様お気づきで
しょうか？製品出荷時には、「写真1」のようにステンレス製のプラグが取り付けられていますが、実は便利な活用方法があ
り、事例も増えていますので今回ご紹介致します。
活用方法としては、
① 試運転の際、真空ポンプを用いて水槽からフットバルブ1次側までを水で満たすことがあげられます。
本来であれば、何度か試運転のために呼び水とポンプの起動を繰り返しますが、ほとんど1回の呼び水とポンプの起動
で試運転が完了します。
特にインバーター制御のポンプをご使用の際に、試運転時に呼び水とポンプの起動する回数が増え、時間がかかる
ことから推奨しています。
実例として、「写真2」の現場では、ニップル→ボール弁→コプラの順で取り出し配管が接続されています。
② 真空計と設置することで、水槽からフットバルブ間の落水の可視化できることがあげられます。
例えば、水槽の液面からフットバルブが 2mあれば、真空計は-0.02MPaを指しますので、目視で配管内に水がある
かどうかを確認することができます。
また、試運転の際に、本当に水が吸い上がっているのか確認しながら作業もできますので安心です。
弊社では、オプションとして、減圧口から接続する配管「減圧確認ユニット」の販売も行っていますので、スモレンスキ
フットバルブ設置を検討する上で、お客様のお役に立てれば幸いです。



写真1
減圧口



写真2 真空ポンプへの接続配管



写真3 真空計の設置



五十嵐レポーターが行く!!



石川県担当営業マンは移動に終われ、小松名物を食す事無く、羽田へと・・・。右は小松のゆるきゃらさんです。



小松鉄工団地は、小松空港の近くにあります。昭和48年12月に15企業でもって組合設立をし、組合員各位の極めて強固な協和のもとに昭和56年3月をもって完成をされました。東に名峰白山を仰ぎ西に日本海を望む、きわめて豊かな環境にめぐまれた小松鉄工団地は昭和58年に新しく4社を加え充実されています。今回ご紹介する現場は、小松鉄鋼団地に工場がある、東伸熱工(株)(総合金属熱処理メーカー)小松工場様になります。

現場での改善事例 東伸熱工(株) 小松工場様

【課題】
機器冷却水として工業用水を循環して使用している。長期連休(1月、5月、8月)にポンプを止めるとフート弁が開きっぱなしで固着し、操業を開始する際に空運転してしまう。わざわざ配管を引き上げ、フート弁をチェック。こちらの現場では、1年位で末端フート弁も交換してしまっているとの事でした。ポンプの台数も10台近くあり、作業が大変で困っていた。

【現場の様子 125A】



末端フート弁(鋳物)



末端フート弁(鋳物)

【提案】
末端フート弁からスモレンスキグランドフート(地上に設置出来るフート)に変更することで、復旧する時間の短縮、更にポンプを間欠運転にする事で省エネを図る。
設置製品：SG-65、SG-100軽量仕様 (SUS304/PVC)

設置日：2014年3月
訪問日：2014年3月21日
現場状況は右頁にて

グランドフートバルブ 設置後の様子(SG-65,SG-125)

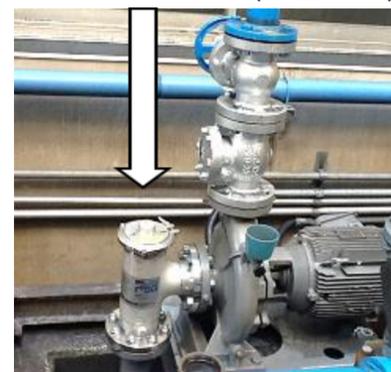
グランドフート 設置前 SG-125(軽量仕様)



グランドフート設置後 SG-125(軽量仕様)



グランドフート SG-65(軽量仕様)



末端フート弁を使用しているライン



真空計を設置して、目視管理している。



東伸熱工(株)小松工場 生産課 課長 巻本様

東伸熱工(株)小松工場 生産課 課長 明石様

【お客様の声】

明石様
元々末端フート弁しか知らず、落水すると「またか・・・」という思いで引き揚げ作業をしていた。小さい口径だと何とかなるが、大口径は本当に大変。まだメンテナンス機会はないが、構造も単純ですぐにイメージできました。

巻本様
これ本当にいいですよ！私の担当は配管が125Aと大きく人力ではまず無理なのでユニックを準備していた。それがこれだけの作業で済む。更に今後は省エネ目的で、24時間運転していたラインを間欠にする。通常のフート弁だと間違いなく落水が発生するが、これなら落水しても簡単！概算だが、ラインを止めるだけで約100万の省エネになるので、うまくいけば変えて行きたいと思っている。